



大建鋼業株式会社  
未来へのメッセージ



私は昭和9年に生まれ、終戦間際には、明日食べる物が無いという激動の時代を生き抜いてきました。幼少期は体が弱かったものの、18歳で入社した野村工務店(旧埼玉県栗原町)で約17年間、土木工事の現場で懸命に働き、肉体と精神力を鍛え上げました。

昭和44年、36歳の時に、信頼の置ける2人の仲間とともに大建鋼業株式会社を設立しました。仲間の1人は営業力に長け、もう1人は鉄工に詳しく、私は土木のスペシャリストという「三つ巴」の戦略を進め、事業を拡大していきました。

おかげ様で、現在では大手ゼネコンからの信頼も厚く、受注も増加しています。また、平成17年、息子の勉に事業を継承しました。その時は、正直、ホッとしました。普段はあまり口をききませんが、本誌作成を機に、感謝を伝えたいと思います。

当社は、令和元年に、設立50年を迎えました。時代の流れは不透明ですが、社長はじめ、社員には、現代の感覚を持って、事業を進めてほしいと願っています。

代表取締役会長  
北島 吾一郎



私は、幼い頃から父の働く姿を見てきました。父が苦勞を乗り越えながら、守り続けた会社を継承した時、今までに感じたことのない「責任」を重く受け止めました。

モノづくりの現場というと、「3K」「荒っぽい」というイメージを持たれるかもしれませんが、当社の技術者たちは、一流の技術を保有しており、お客様から頂いた大切な仕事を一つひとつ、心を込めて丁寧に作り上げ、最高の品質でご提供しています。その姿勢は高く評価され、会社の業績にも反映されています。

当社は大きな建造物に使う鉄骨を製造しているため、工場も広いスペースが必要になります。今後は、作業工程の効率化と、さらなる事業の拡大を目指し、新工場の建設も視野に入れていきたいと考えています。

これまで、地元の方々やお取引先の皆様にご支援いただき、50年もの歩みを進めて来ることができました。今後は、「次の50年」を目指し、社員とともに、さらに精進して参ります。

代表取締役  
北島 勉